作成日　２０１５年　９月１０日
改訂日　　年　　月　　日

製品安全データシート

１．製品及び会社情報

製品名	**エクスプレス**
ＭＳＤＳ整理番号	22-A-6562-01
会社名	ペンギンワックス株式会社
住所	〒537-0021 大阪市東成区東中本３－１０－１４
担当部門	研究開発部
電話番号	06-6973-9130
ＦＡＸ番号	06-6976-1456
推奨用途	屋内一般化学タイル床の保護・艶出し
製品説明	業務用・水性フロアーポリッシュ・ポリマータイプ

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分２Ｂ
	生殖細胞変異原性	区分１Ｂ
	生殖毒性	区分１Ａ
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分１

※　上に記載のない有害性は、「分類できない」である。

ＧＨＳラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語　危険

危険有害性情報
- 眼刺激
- 遺伝性疾患のおそれ
- 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- 長期にわたる、または反復暴露による肝臓の障害

注意書き

【安全対策】
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

【応急措置】
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察、手当てを受けること。

【保管】　・施錠して保管すること。

【廃棄】　・内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　：　混合物

成分名	含有量(%)	労安法 通知対象物	PRTR 法	CAS No.
ｴﾀﾉｰﾙ	0.1～10	61 号	非該当	64-17-5
ｱｸﾘﾙ系樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ	30～40	非該当	非該当	非公開
高融点ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾜｯｸｽｴﾏﾙｼｮﾝ	5～15	非該当	非該当	非公開
可塑剤	<5	非該当	非該当	非公開
ｱﾙｶﾘ可溶性樹脂	<1	非該当	非該当	非公開
ﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ剤	<1	非該当	非該当	非公開
防腐剤	<1	非該当	非該当	非公開
消泡剤	<1	非該当	非該当	非公開
水	残量	非該当	非該当	―
合計	100			

※　シックハウス・シックスクール配慮
シックハウス・シックスクールの原因としてあげられている厚生労働省指針値該当成分（１３物質）については、これらを原料として使用していません。(1)

※　環境ホルモン対応
環境省「内分泌攪乱作用を有すると疑われる物質（６５物質)」を使用していません。

４．応急措置

目に入った場合　：多量の水で１５分以上洗眼し、もし異常があれば医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：速やかに水で洗い落とす。
吸入した場合　：もし、気分が悪くなった場合は風通しの良い場所に移動し、新鮮な空気を吸わせる。
飲み込んだ場合　：多量の水、牛乳などを飲ませて吐かせるなどの措置を行った後、直ちに医師の診断を受ける。

５．火災時の措置

消 火 剤　：　注水、炭酸ガス、ドライケミカルなどの一般消火剤
使ってはならない消火剤　：　情報なし
消火方法　：　本製品は水溶液でありそのままでは引火、発火性はないが、揮発した後に残る不揮発分に着火した場合には保護具を着用して消火する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項　：　ゴム手袋、保護眼鏡等の保護具を着用した上で作業する。床に流出した場合滑りやすくなるので注意する。
環境に対する注意事項　：　雨水溝や河川、海上といった公共水域に流出した場合は事実上処理が不可能となるため、公共水域への流出は絶対に避ける。

封じ込め及び
浄化の方法・機材　：少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ空容器に回収する。大量の場合には、土砂等で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから空容器に回収する。

７．取り扱い及び保管上の注意

①取扱い
・取扱いは、換気のよい場所で行う。
・適切な保護具（手袋、保護眼鏡、保護服など）を着用する。
・液が皮膚や眼、口などに付着しないように注意する。
・一度、容器から出した液は元の容器へ戻さない。
・取扱いの都度、容器を密閉する。
・取扱い場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。
・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加えまたは引きずる等の粗暴な取扱いをしない。

②保管
・直射日光を避け、換気の良い冷暗所かつ凍結しない場所に保管する。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策　：通常の換気状態での使用可
取扱い箇所の近辺に洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
管理濃度　：設定されていない。
許容濃度　：設定されていない。

保護具
呼吸器の保護具　：不要
手の保護具　：ゴム製またはビニール製保護手袋を着用する。
目の保護具　：保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具　：長袖作業着、保護服などを着用する。

９．物理的及び化学的性質

外観
物理的状態　：液体
色　：乳白色
臭い　：微臭
ｐＨ　：8.2
引火点　：なし
比重　：1.024
溶解度　：水に容易に分散
不揮発分　：21 wt%
粘度　：3.5 mPa･s（20℃）

１０．安定性及び反応性

安定性　：通常の環境下では安定
危険有害反応可能性　：情報なし
避けるべき条件　：0℃以下の低温（凍結）および 40℃以上の高温環境
混触危険物質　：水禁忌物質
危険有害な分解生成物　：情報なし

１１．有害性情報

急性毒性　（経口）　：混合物判定理論経口　ＬＤ50 推定値 ATEmix が 5000mg/Kg を超えるため、区分外とした。
急性毒性　（経皮）　：データ不足のため分類できない。
急性毒性　（吸入）　：データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性　：データ不足のため分類できない。

眼に対する重篤な損傷性／
眼腐食性　：　区分２Ｂの成分を 10%以上含むため区分２Ｂとした。
呼吸器感作性　：　データ不足のため分類できない。
皮膚感作性　：　データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性　：　区分１Ｂのｴﾀﾉｰﾙを 0.1%以上含むため区分１Ｂとした。
発がん性　：　データ不足のため分類できない
生殖毒性　：　区分１Ａのｴﾀﾉｰﾙを 0.1%以上含むため区分１Ａとした。
特定標的臓器毒性（単回暴露）　：　データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復暴露）　：　区分１のｴﾀﾉｰﾙを 1.0%以上含むため区分１とした。
吸引性呼吸器有害性　：　データ不足のため分類できない。

１２．環境影響情報

生態毒性
水生環境急性有害性　：データ不足のため分類できない。
水生環境慢性有害性　：データ不足のため分類できない。

生態蓄積性　：データなし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　① 少量の本液を廃棄する場合は水で十分に希釈しながら浄化槽もしくは下水道に廃棄する。
② 大量に廃棄する場合は、内容を明示した上で免許を持った産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
③ 量の多少に関わらず下水道以外の公共水域などへの排出は絶対に避ける。

汚染容器・包装
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、免許を持った産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

１４．輸送上の注意

陸上輸送　：　消防法　非危険物
海上輸送　：　船舶安全法　非危険物
航空輸送　：　航空法　非危険物
国連分類　：　該当しない
国連番号　：　該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件　：
運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。輸送作業は取扱い及び保管上の注意事項を留意して行ぅ。

１５．適用法令

①労安法／有機溶剤中毒予防規則　：該当しない
／通知対象物　：ｴﾀﾉｰﾙ（61 号）
②消防法　：該当しない
③毒物及び劇物取締法　：該当しない
④船舶安全法　：該当しない
⑤航空法　：該当しない
⑥ＰＲＴＲ法　：　第一種指定化学物質　：該当しない
：　第二種指定化学物質　：該当しない

１６．その他の情報

参考文献

・ＧＨＳ対応ガイドライン　社団法人　日本化学工業協会　（平成２０年１０月）

・ＪＩＳ　Ｚ　７２５０－2005　　化学物質等安全データシート　（ＭＳＤＳ）

本資料は、信頼し得ると考えられる資料並びに測定結果などに基づき一般的な取扱いを前提に作成したものです。ご需要家各位は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切なる処置を、お取り下さるようお願い致します。

＜参考資料＞

（１）シックハウス・シックスクールの原因としてあげられている化学物質

①厚生労働省指針値該当成分（１３物質）

ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、フタル酸ジーｎーブチル、クロルピリホス、スチレン、テトラデカン、ダイアジノン、フタル酸ジー２－エチルヘキシル、アセトアルデヒド、フェノブカルブ

②学校保健法：学校環境衛生の基準（ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物）

ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン